

## 特別研修

### 月例研究会 議事録 ( 12 月 )

2008 年度第 6 回

<b>報告題名</b> 雇用型農業における労働力調達と外国人研修制度	
<b>報告者</b> 柳瀬 拓美 (所属分野) 資源経済学分野	<b>日時</b> 12月18日 15時から17時 <b>場所</b> 第八講義室
<b>座長</b> 小山田	<b>議事録担当者</b> 池田
<b>出席者</b> 米倉、冬木、川島、工藤、伊藤、長谷部、木谷、石井、大村、佐藤章夫、澁谷、小山田、張、池田、飯塚、田口、松井、スチン、祖、八木、柳瀬、神浦、野村、福田、水木	
<b>報告要旨</b> <p>近年、わが国の農業において雇用型経営は、常雇・年雇を中心に拡大を続けてきた。その労働力調達ルートの一つに外国人技能実習生・(研修生)制度の利用があり、現在その利用数は大きく増加している。農業部門における被雇用者のうち外国人の占める割合は、まだ小さいが、現在行われている当制度の見直し如何によって拡大する可能性が考えられる。</p> <p>そこで、小規模、高齢化の進行、家族労働力が主流など日本農業と同様の特徴を持つイタリア農業が、規模拡大や集約的作物へ生産を移行してきた過程での外国人労働者に関する制度について明らかにすることで、日本農業・農村の発展に関する一可能性を示したい。</p> <p>今回の報告では、わが国の外国人研修生・技能実習生制度とその問題点、労働力構成の変遷を概観した後、イタリア農業の構造的特性等を整理し、最後にこれからの課題を挙げて結びとしたい。</p>	

## 質疑・応答

佐藤：日本で雇用している農業経営の特性は、家族経営なのか何なのか。それから賃金の支払は日払いか月給なのか、社会保険は含まれるのか

柳瀬：日本人労働者に対してはわからない。外国人、実習生の雇用形態では年間 180 万円支払わなければならない大きな経営体でないと無理である。研修生に対しても実習生に対しても定額が支払われます

佐藤：日本人で社会保険を含んだ雇用をしているところはどのくらいありますか、日本の場合

柳瀬：雇用者にも臨時雇用と常時雇用のふたつに分けられるが、常雇の場合、健康保険、労災等が適応される、実習生もそう。研修生は研修生保険が適応されます。

松井：日本の雇用の調査は外国人の実習制度に基づいている数字だけを拾ったものなのか。JA とか他の機関が受け入れていることがある。実際はもっとすごい数がきているはず。

柳瀬：地方では、国勢調査を基にしているが確かとはいえないが、大体の規模としては見なされていると思います。

松井：JA とかたくさん機関があるからそのデータベースも参考にしないとイタリアとの比較もならないのではないか

柳瀬：他の機関のデータベースも調べてみたいと思います。

伊藤：なぜ、イタリアと比較するのか。雇用型農業の問題を挙げたときに本当にイタリアとの比較がいいのか、外国人を長期で雇用し住みつく場合、日本の社会は受け入れられるのか、問題のアプローチでイタリアとの比較でどの程度問題を広げられるのか農業政策の雇用だけするのか

柳瀬：イタリアと比較するのは、構造特性だとか農産物の品質、あとは集約的なものに重点を移してきているというところが重なって、あと 1980 年代からイタリアも日本も外国人の移住者や入国者が増えたからで、そこで制度的にも社会の受け入れ体制も整備されていないというところの認識から始まっています。そこでイタリアではどのように制度を確立してきたのかということでイタリアとの比較にしました。

そして雇用だけに焦点を当てた上で、それから社会統合だとか、外国人の方が日本に住み続けるという整備をすすめていく必要があると思います。

伊藤：ヨーロッパは労働者がかなり流動性の高い地域である。日本の場合はそれほど高くないのでヨーロッパと日本の対比でいいのか考えた方がいいのでは

木谷：農業生産物の品目によって定期雇用と不定期雇用に差があるとのことで統計的には言えるのかも知れないが実際は因果関係はないのではないのか。北部、南部産業形態の違いもあるってそういうのを総合していくと何が原因かわからなくなる。いろんな変数を想定して上下そろえて比較しないとイケないのではないか

冬木：外国人労働者の流動性の問題があるし、イタリアだと農業と他産業との関係があるので、今の日本との比較になるのかむしろイタリアだけでやってみてはどうか。日本の流通業ではかなりの数が外国人で担われている、労働市場の構成がちがうので比較は無理なのではないか

柳瀬：それも含めて今後検討します。

米倉：日本の外国人労働者入れ方をイタリアでレッスンを得ようとしているのかなと思いましたが、あまりいいレッスンは得られなそうですね。TVでみるイタリアの農民は所得は高くないが幸せに暮らしているようにみえる。日本でも外国人労働者を入れてやることでイタリアのような暮らしができるのかなと思いました。